

平成 27 年度 第 1 回 東京都北区環境審議会議事要旨

日時： 平成 28 年 3 月 28 日（月） 14:00～15:45

場所： 北区役所 第一庁舎 4 階 第一委員会室

【出席者】

< 委 員 >

丸田 頼一 会長	品川 明 委員	柳井 重人 委員	小川 芳樹 委員
秋山 香織 委員	秋山 健太郎 委員	鈴木 将雄 委員	小山 文大 委員
原 芳子 委員	尾花 秀雄 委員	中村 進 委員	やまだ 加奈子 委員
青木 博子 委員	近藤 光則 委員	前田 ゆきお 委員	

< 事務局 >

宮内利通生活環境部長 稲垣茂孝生活環境部環境課長

【次 第】

1. 開 会
2. 委員・事務局紹介
3. 会長・副会長選出
4. 議 事
 - < 議事 1 > 「北区環境基本計画 2 0 1 5 の進捗状況（平成 2 7 年度）」について
 - < 議事 2 > その他
5. 閉 会

【配布資料一覧】

1. 平成 27 年度 第 1 回 東京都北区環境審議会 次第
2. 東京都北区環境審議会 座席表
3. 東京都北区環境審議会 委員名簿
4. 北区環境基本計画 2 0 1 5 および概要版
5. 環境かるた「北区 eco かるた」
6. 平成 2 7 年度 北区河川生物生息調査報告書
7. 議事（1）関係
 - 資料 1 北区環境基本計画 2 0 1 5 の進捗状況（平成 2 7 年度）
 - 資料 2 東京都北区環境基本条例
 - 資料 3 東京都北区環境審議会規則

【傍聴人】

傍聴人 1 名

【議事要旨】

1. 開会
2. 委員・事務局紹介
3. 会長・副会長選出
4. 議事

< 議 事 1 >

○委員

議題1の「北区環境基本計画2015の進捗状況（平成27年度）」について事務局から説明をお願いする。

○事務局 ー資料説明ー

○委員

「環境かるた」につき、素晴らしいものが出来上がったと感じる。しかし、12月に完成したとのことで、まだ十分に普及啓発できていないのではないかと。

今後は教育委員会等との連携を検討し、小学校の放課後や授業等でかるた遊びをする機会を創出できれば、子ども達がかるとに接触する頻度が上がり、「環境かるた」がより広がっていくのではないかと。

○事務局

現在、区内の小学校の全クラス、全区立幼稚園、わくわく☆ひろば・放課後子ども教室等で配布し、下地を整えている。

今後も連携を見据え、事業を展開していきたい。

○委員

資料説明中、区民の7割が集合住宅等にお住まいとあったが、その根拠は。

○事務局

「北区のエネルギー施策に関する提言」においても引用したが、平成20年度住宅土地統計調査にて、北区の住宅総数のうち72%が共同住宅との調査結果が出ている。

○委員

エネルギーの消費者側である区民に対し、省エネや環境を学べるように「かるた」というツールとして実現できたのは非常に良い結果だと思う。今までの取組みが果実として身を結んだのではないかと。

○委員

環境かるたについて、読み札や絵は低学年向けだが、裏の解説は高学年向けで低学年には理解が難しいように思う。

○事務局

実際にかるたで遊ぶのは子どもではあるが、親の世代を巻き込んでいくといった趣旨もある。子どもの頃から「省エネ・新エネに関する取組み効果を楽しみながら学ぶ」ことを通じて、区民が省エネ対策や新エネ機器導入の意義を認識し、子どもから親の世代へと広げていくことで、区民自らが環境に配慮した行動の実践を目標としている。

○委員

身についた低学年が成長した後でも取り組める、支えられる学習環境を整え、継続的に取り組めるような場を展開してほしい。

○事務局

検討していきたい。

○委員

4-2「地域に密着した緑の保全と創出の仕組みづくり」における、成果指標「延長 20m 以上の接道緑化の総延長」にて、約 9000m も増加したのには理由があるのか。

○事務局

モデル地区の設定による助成金額の増額、また、マンション等の大規模な開発行為があるとそれに付随して大幅に増加するといった傾向がある。

「東京都北区みどりの条例」に基づく、緑化計画書の提出・認定等の指導が成果として表れているのではないかと。

○委員

今回の北区環境基本計画 2015 では、生きもの生息やネットワークに配慮した緑化の重要性が主旨としてあるのではないかと。同項目中の成果指標「区内の生きもの調査を活用した緑化指針等の策定」も検討中とあるが、この主旨を実現するためにも、指針等の策定に向け努力していただきたい。

○事務局

様々な意見を取り入れながら、検討していきたい。

○委員

1-1「環境保全・創造のための人・地域づくり」における成果指標「北区環境大学事業での開催講座数」や 4-1「生物多様性の重要性に対する理解の促進」における成果指標「環境大学事業におけるセミナー等の参加者数」の数値が減っていること、また、自然ふれあい情報館の利用者数が大幅に減っていることには理由があるのか。

○事務局

環境大学事業の会場として使用している施設で耐震補強工事があり、講座を開催できない期間があった。また、自然ふれあい情報館においても、約3か月の間、改修工事により使用できない期間があった。来場者数は年々減少している傾向にあるが、次年度以降は回復できると考えている。さらなる集客に向けた方法等、模索していきたい。

○委員

3-1の成果指標「家庭・事業所での優れた取組みに対する表彰・公表数」の今後の表彰制度の見通しや計画の進捗状況はどうなっているのか。

○事務局

毎年11月に開催されている環境展で新規・既存の事業との連携を図りながら、優れた取組みに対する表彰制度を検討していきたい。また、先ほど説明した新規事業「省エネ道場」においても習熟度に応じたランク分けや、学習した内容を家庭で広げ、実践していくことに対する表彰制度等を検討・構築し、推進していきたい。

○委員

小さな積み重ねが環境問題には大切、という意識を入れた表彰を考えてほしい。

○委員

先ほど環境展の話があったが、今年環境展は10年目を迎え、個人や団体の活動に対し、区長表彰や教育長表彰を行った。

○委員

せっかく良いかるたが出来上がったのであるから、小学生や環境に関心のある一部の人のみではなく、広く周知していただかないと思いが伝わらないのではないのか。

○事務局

ご指摘の通り、粘り強く周知、普及に努めていきたい。

○委員

高学年から低学年へ等、学生同士で教え合うような環境づくりができれば良いのではないかと。

○委員

1-1 の成果指標「環境学習拠点の利用人数」が、エコー広場館、自然ふれあい情報館に比べ、みどり環境情報館の利用人数が少ないのには理由があるのか。

○事務局

施設のある公園の利用者数を含めた人数であったり、施設自体の入館者数であったりなど、施設自体の管理運営方法の違いが数値としてあらわれている。

○委員

注釈等に記載してはどうか。

○事務局

了解した。

○委員

1-2 の成果指標「環境経営に関するセミナーへの参加者数」とあるが、具体的に、どのようなセミナーを実施しているのか。

○事務局

エコアクション 21 の募集セミナー及び取得セミナーである。

○委員

2-3 の成果指標「光化学オキシダントや PM2.5 に関する情報発信」とあるが、施策の柱には「広域的な環境問題の解決に向けた取組み」とあり、情報発信だけではなく、対策として取り組むところもあるのではないかと。

○事務局

光化学オキシダントでは、区民に対する情報提供だけではなく工場や指定作業所に対し、情報提供や指導を行っている。また、北区では、PM2.5 の情報を常時公開し、事業や学校等教育機関で役立ててほしいと PR している。

○委員

広域的な問題ではあるが、北区が原因となっていることをできるだけ減らせるよう、必要な情報を提供している、との認識でよいか。

○事務局

ご理解のとおりである。

○委員

3-2 の成果指標にある、非常用発電機とは、平常時も使用できる物を導入しているのか。

○事務局

主管は危機管理室となるが、導入している発電機は非常時のみに使用するものである。

○委員

家庭では今後、フードディスポザルを使用した生ごみの廃棄、水の流れを利用した処理・回収が広まり、廃棄物等を利用したバイオマスエネルギーの研究・開発が進んでいくのではないかと。区としても、そういったエネルギーの活用方法を見い出していくことができれば、と考える。

< 議 事 2 >

○委員

議題 2 の「その他」の事項について、事務局から説明をお願いする。

○事務局

1 点、報告事項がある。

「豊島 5 丁目地区ダイオキシン類土壤汚染に係る公害防止事業費事業者負担決定処分について」の状況を報告する。

—報告—

○委員

本日の次第はすべて終了した。

これにて平成 27 年度第 1 回東京都北区環境審議会の議事を終了とする。

3. 閉会

以上